

2025年度 第3四半期 決算説明会

2026年2月2日
株式会社村田製作所

2025年度 第3四半期 ハイライト・トピックス

代表取締役社長 中島規巨

当決算のハイライト

2025年度 第3四半期実績

売上収益 4,675億円

- 前年同期比で+4.3%增收。スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少したものの、サーバー向けでコンデンサが増加したことにより增收。為替影響除きで+3.5%增收。

営業利益 379億円

- 前年同期比で表面波フィルタ製品に係る事業のれんの減損438億円を含む一時費用▲498億円を計上した影響で営業利益は半減。一時費用を除く営業利益は877億円。

2025年度 業績予想(2月)

売上収益 18,000億円

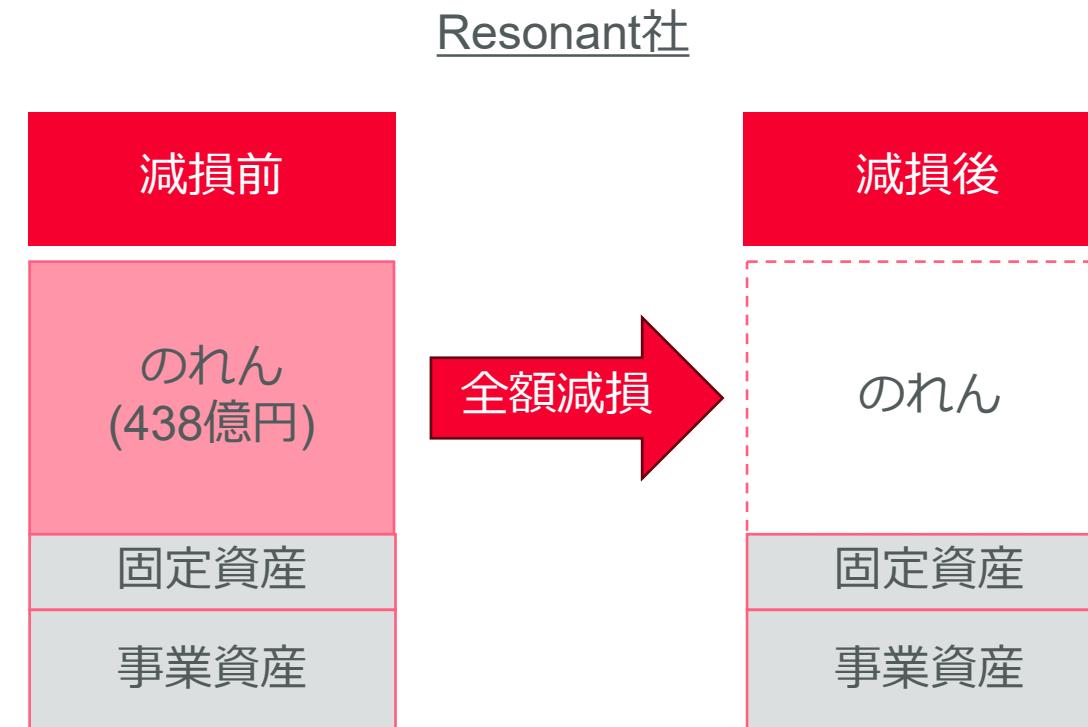
- 10月予想比で+3.4%、600億円の上方修正。予想レートからの円安進行に加え、AIサーバー及び周辺機器における電子部品の搭載数の増加、スマートフォンの生産台数が増加したことによる当社製品の需要増が主な要因。

営業利益 2,700億円

- 10月予想比で▲3.6%、100億円の下方修正。為替影響や準変動費・固定費の抑制による増益要因はあるものの、減損の影響が大きく、前回予想を下回る見込み。

のれんの減損損失について

- 表面波フィルタ製品に係る事業の将来キャッシュ・フロー計算に基づき Resonant社買収時に発生したのれんにおける減損テストを実施。
- 減損テスト及び測定の結果、Resonant社のれん全額（438億円）を減損。
- 固定資産は回収可能性ありと判断。減損は実施しない。



買収当時の狙い

概要

- ・ 買収時期：2022年3月
- ・ 買収金額：約350億円
- ・ Resonant社

買収による効果

- ・ 高周波フィルタの製品ラインアップの拡充
- ・ 高周波帯域向けフィルタの差異化技術として
高周波デバイス事業の成長にも寄与

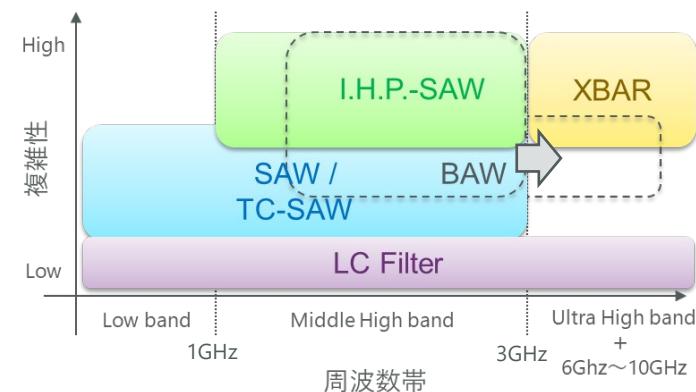
「高周波・通信」での差異化技術の獲得
競争優位性の確立へ

SAW工法とのXBAR技術のシナジーと将来事業機会は不变
一方で、事業としてのキャッシュ・フロー化が買収当時の想定よりも遅れている

XBAR技術の特長

- ・ **高周波・広帯域での高い特性**
難易度の高い高周波・広帯域の領域において、周波数の
フィルタリング特性(高減衰、低損失、急峻性)で優位性を発揮
- ・ **SAWフィルタ技術との高い親和性**
既存技術との高いシナジー効果。業界最大である当社SAWフィルタ
の生産能力も活用可能

各フィルタと対応周波数帯



XBARのニーズ

5Gや次世代のWi-Fi規格が普及
通信端末が高周波帯における
信号を正確に受信することが必要に

帯域幅の広い高性能な
高周波フィルタのニーズが高まる

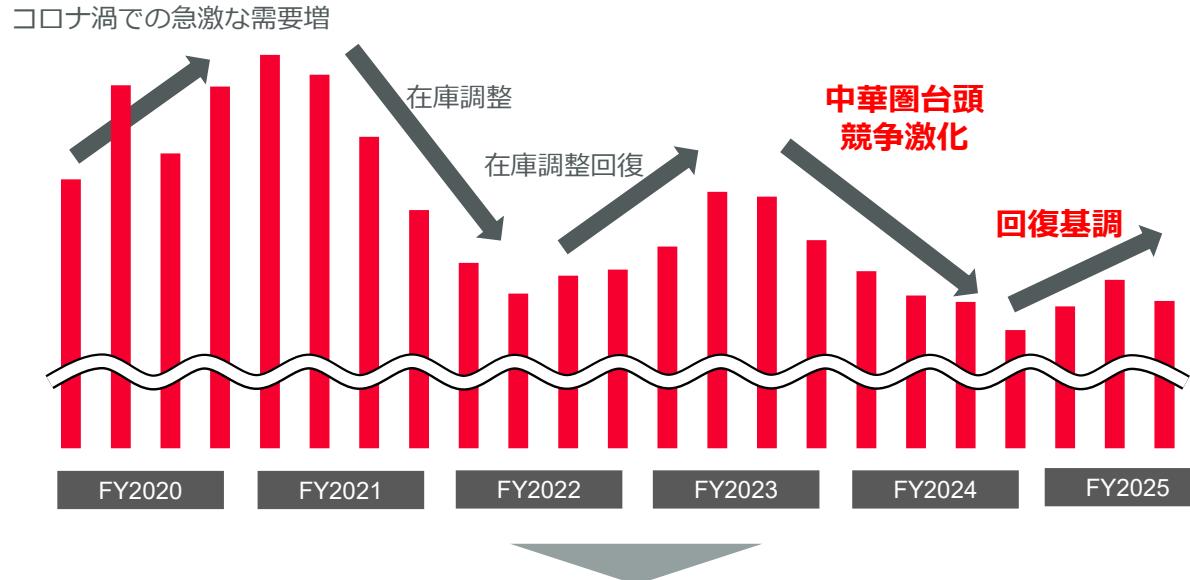
XBARの事業機会の拡大

減損の経緯

買収当初に想定していたよりも

①中華圏競合の台頭による競争激化

【表面波フィルタ製品に係る事業の売上推移】



- ・売上は2024年度に底打ち
- ・現在は回復基調となり、反転の兆し
- ・高性能部品による市場ポジション強化を狙う

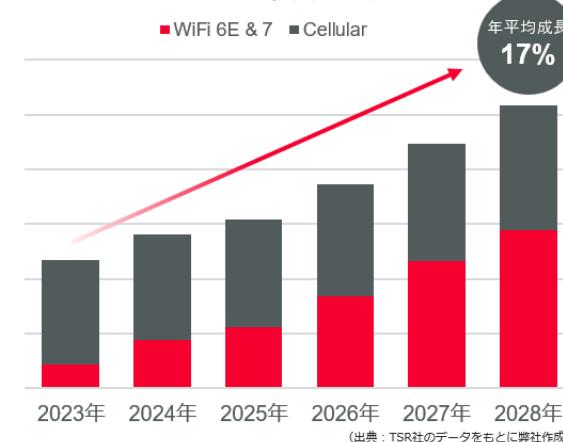
②高周波化の進展に遅れ

当初想定：2023年度 XBAR量産出荷

約2年の遅れ

実績：2025年度 XBAR量産出荷

<Over-3GHzの中期想定>



WiFi 7

シェア獲得(Phone向け)

6 G

当初想定から進展遅れ
将来成長に期待

- ・高周波化は鈍化も、事業機会拡大は不变
- ・足元ではAIデバイス登場による多接続、低遅延、大容量通信における需要増を想定

今後の方針

	これまでの取り組み	達成状況評価／今後の方向性	
中期課題 1	<p>高周波領域における</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差異化技術の追求 ・シェア拡大 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ・ハイエンド端末の来期モデルのシェア獲得 — ・表面波フィルタ事業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> － 成長市場への参入（実績：XBAR量産出荷開始） － 高性能部品による市場ポジション強化 － 高速大容量・低遅延通信・同時多接続への対応強化
中期課題 2	<p>電池事業の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な収益貢献 ・ESS市場での価値提供 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ・電池黒字化達成(通期黒字化見込み) ○ ・PT/OPE市場、BBU市場、ESS市場に資源を集中し、拡売活動を推進
中期課題 3	<p>電源事業の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIサーバー向け需要獲得 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ・垂直給電用電源の受注獲得

2025年度 第3四半期 業績概要および事業概況

2025年4月～2025年12月
第3四半期連結累計期間

代表取締役副社長 南出雅範

業績概況

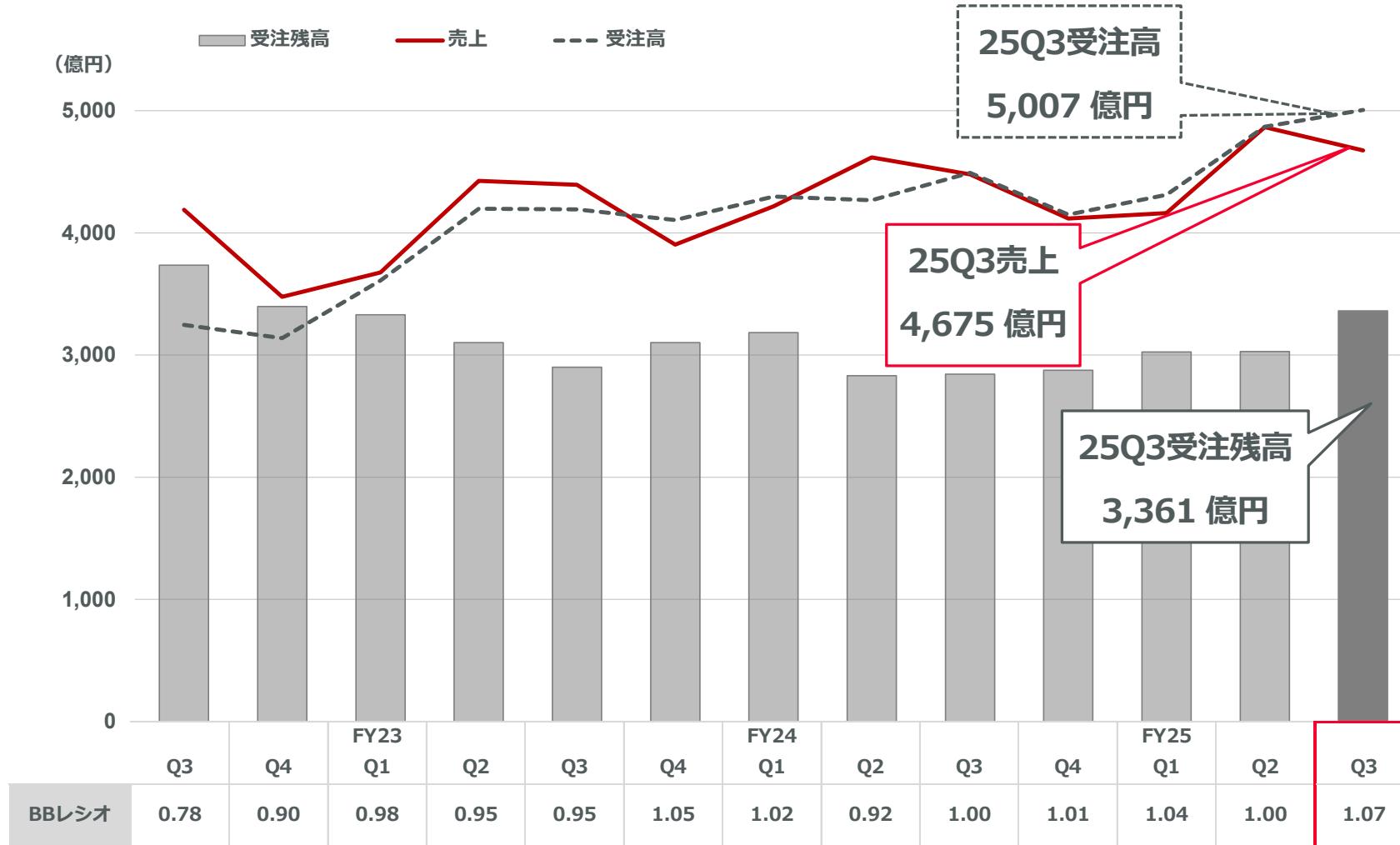
2025年度 第3四半期（前年同期比）

- 売上収益は、スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少したものの、サーバー向けでコンデンサが増加したことにより増収となった。
- 営業利益は、円安効果による増益要因はあったものの、表面波フィルタ製品に係る事業においてのれんの減損損失を計上した影響などにより減益となった。

	2024年度 第3四半期		2025年度 第2四半期		2025年度 第3四半期		前年同期比 25Q3/24Q3		直前四半期比 25Q3/25Q2		為替影響	為替影響除き	
	(億円)		(%)		(億円)		(%)		(億円)			(%)	
売上収益	4,480	100.0	4,866	100.0	4,675	100.0	+194	+4.3	▲192	▲3.9	+150	▲342	▲4.0
営業利益	760	17.0	1,035	21.3	379	8.1	▲381	▲50.2	▲656	▲63.4	+75	▲731	▲64.1
税引前利益	1,045	23.3	1,125	23.1	495	10.6	▲550	▲52.6	▲630	▲56.0			
親会社の所有者に 帰属する当期利益	710	15.8	827	17.0	250	5.3	▲460	▲64.8	▲577	▲69.8			
為替 (円/USD)	152.44		147.48		154.15		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益: 約90億円 営業利益: 約45億円						

売上・受注・注残推移（四半期）

- 全社の受注高は直前四半期比で増加。円安の進行により外貨建て受注残高の評価額が増加したことに加え、サーバー向けの需要が堅調に推移した。



(注) 受注高=売上+当四半期受注残高-前四半期受注残高 受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出。

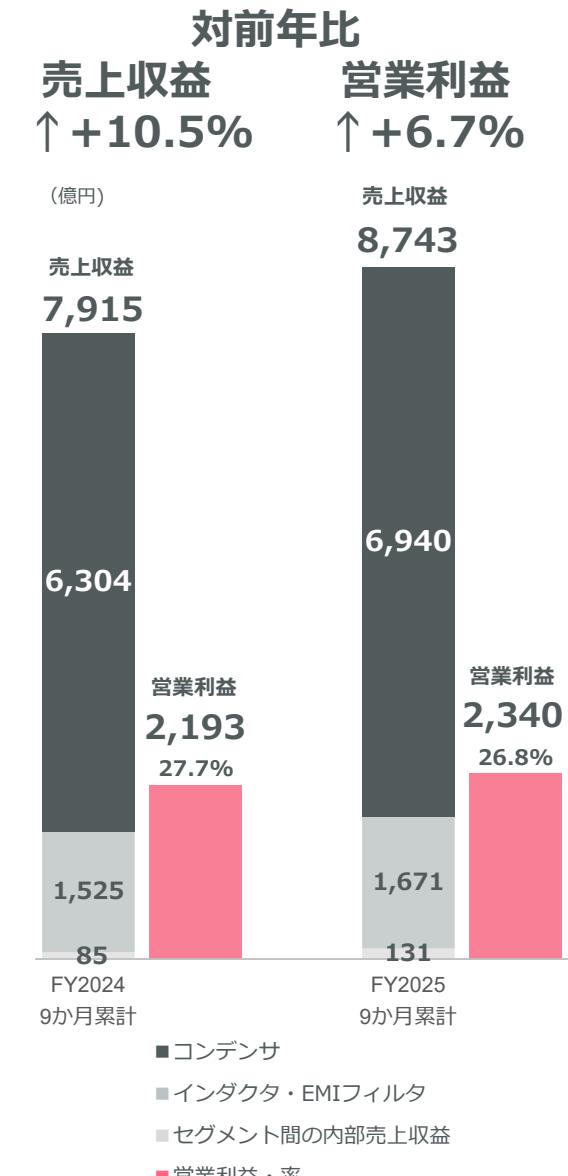
※対米ドル為替レート 2024年12月末：158.17円、2025年9月末：148.89円、2025年12月末：156.54円

事業別セグメント売上収益

	2024年度 第3四半期		2025年度 第2四半期		2025年度 第3四半期		前年同期比 25Q3／24Q3		直前四半期比 25Q3／25Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	2,131	47.6	2,376	48.8	2,391	51.1	+260	+12.2	+15	+0.6
インダクタ・ EMIフィルタ	515	11.5	583	12.0	564	12.1	+49	+9.5	▲19	▲3.2
高周波・通信	1,209	27.0	1,206	24.8	1,022	21.9	▲186	▲15.4	▲184	▲15.2
エナジー・パワー	347	7.7	391	8.0	389	8.3	+43	+12.4	▲2	▲0.5
機能デバイス	245	5.5	274	5.6	271	5.8	+25	+10.3	▲3	▲1.2
その他	34	0.7	37	0.8	37	0.8	+3	+10.3	+1	+1.6
売上収益計	4,480	100.0	4,866	100.0	4,675	100.0	+194	+4.3	▲192	▲3.9

セグメント別概況—コンポーネント [2024年度9カ月累計→2025年度9カ月累計]

売上収益	コンデンサ (前年同期比+10.1%)	○積層セラミックコンデンサ (MLCC) サーバーや代理店向けで増加
	インダクタ・EMIフィルタ (前年同期比+9.6%)	○インダクタ モビリティやスマートフォン向けで増加 ○EMI除去フィルタ モビリティやサーバー向けで増加
営業利益		<p>製品価格の値下がりや円高の進行はあったものの、生産高の増加に伴う操業度益により前年同期比で増益した。</p> <p>※比較には2024年度、2025年度に発生した一時収益・費用の影響が含まれております。</p>



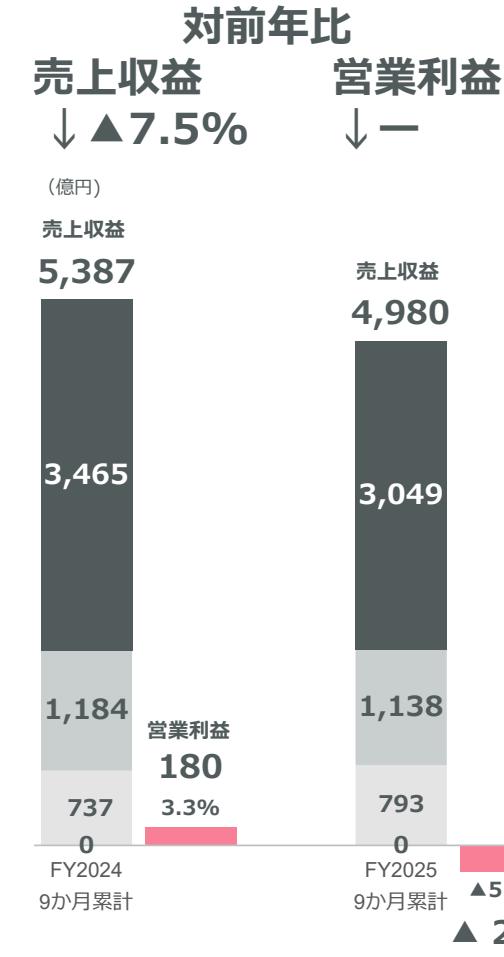
セグメント別概況—デバイス・モジュール

[2024年度9カ月累計→2025年度9カ月累計]

muRata

売上収益	高周波・通信 (前年同期比▲12.0%)	▲高周波モジュール スマートフォンやPC向けで減少 ▲樹脂多層基板・表面波フィルタ スマートフォン向けで減少
	エナジー・パワー (前年同期比▲3.8%)	▲リチウムイオン二次電池 ゲーム機向けで減少
	機能デバイス (前年同期比+7.5%)	○センサ モビリティ向けで増加

営業利益	売上減少に伴う高周波・通信の収益性悪化 に加え、のれんや固定資産の減損により 前年同期比で減益した。	
	※比較には2024年度、2025年度に発生した 一時収益・費用の影響が含まれております。	



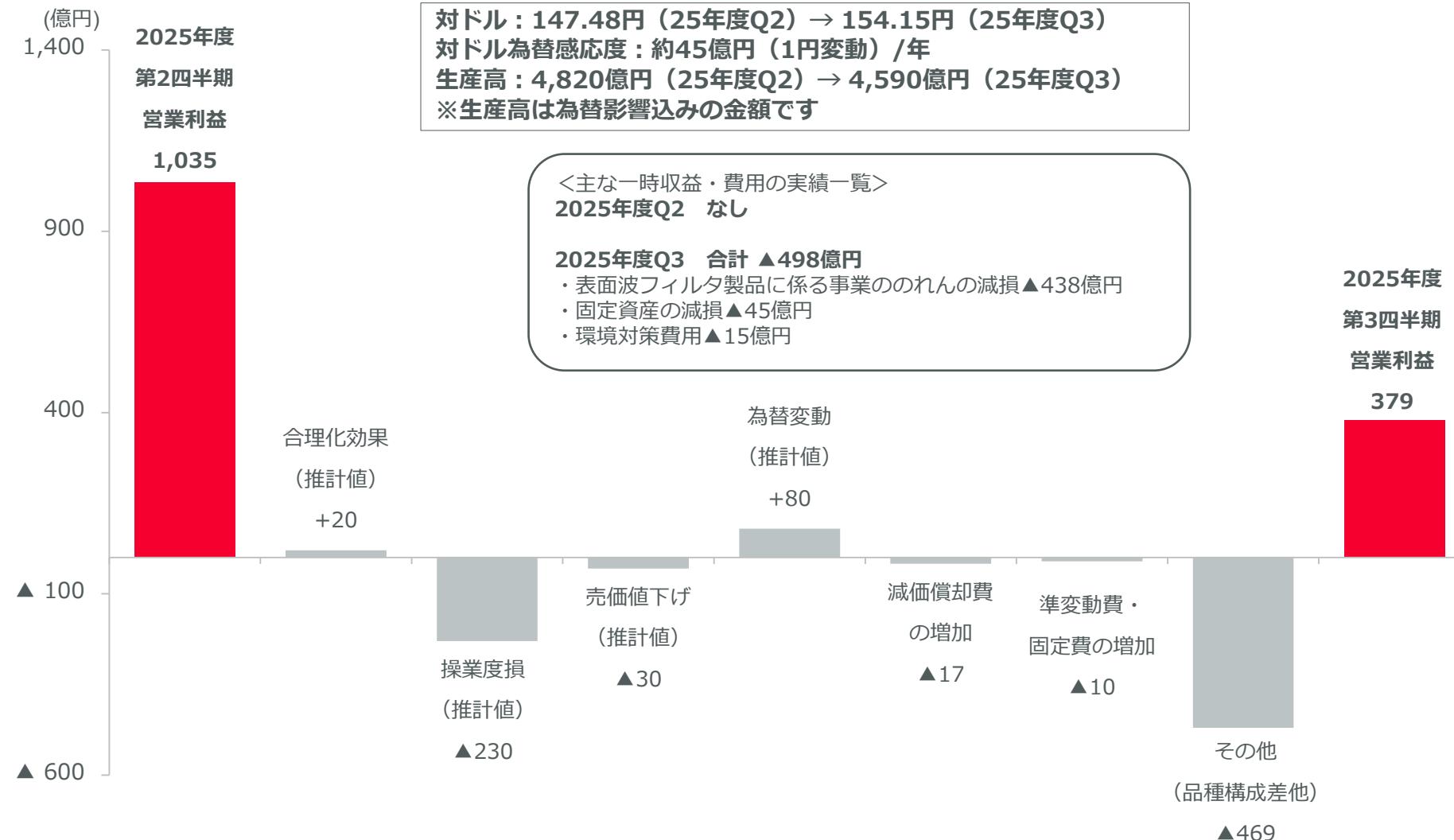
- 高周波・通信
- エナジー・パワー
- 機能デバイス
- セグメント間の内部売上収益
- 営業利益・率

用途別売上収益

	2024年度 第3四半期		2025年度 第2四半期		2025年度 第3四半期		前年同期比 25Q3／24Q3		直前四半期比 25Q3／25Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	1,798	40.1	1,910	39.3	1,717	36.7	▲81	▲4.5	▲192	▲10.1
モビリティ	1,146	25.6	1,212	24.9	1,218	26.1	+72	+6.3	+6	+0.5
コンピュータ	611	13.6	759	15.6	773	16.5	+162	+26.5	+14	+1.9
家電	323	7.2	366	7.5	356	7.6	+33	+10.3	▲10	▲2.7
産業・その他	601	13.5	620	12.7	610	13.1	+9	+1.5	▲10	▲1.6
売上収益計	4,480	100.0	4,866	100.0	4,675	100.0	+194	+4.3	▲192	▲3.9

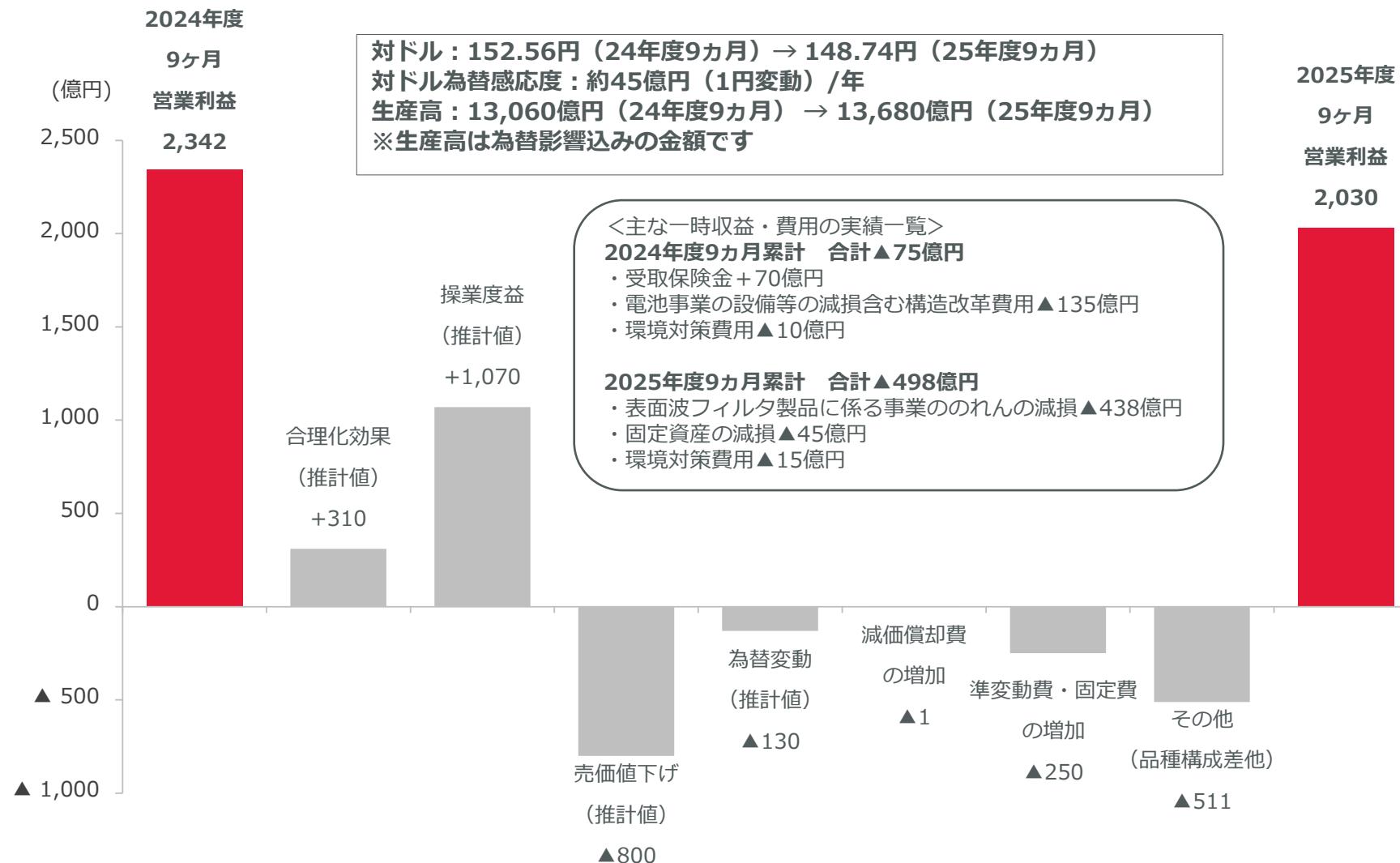
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2025年度第2四半期→2025年度第3四半期]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

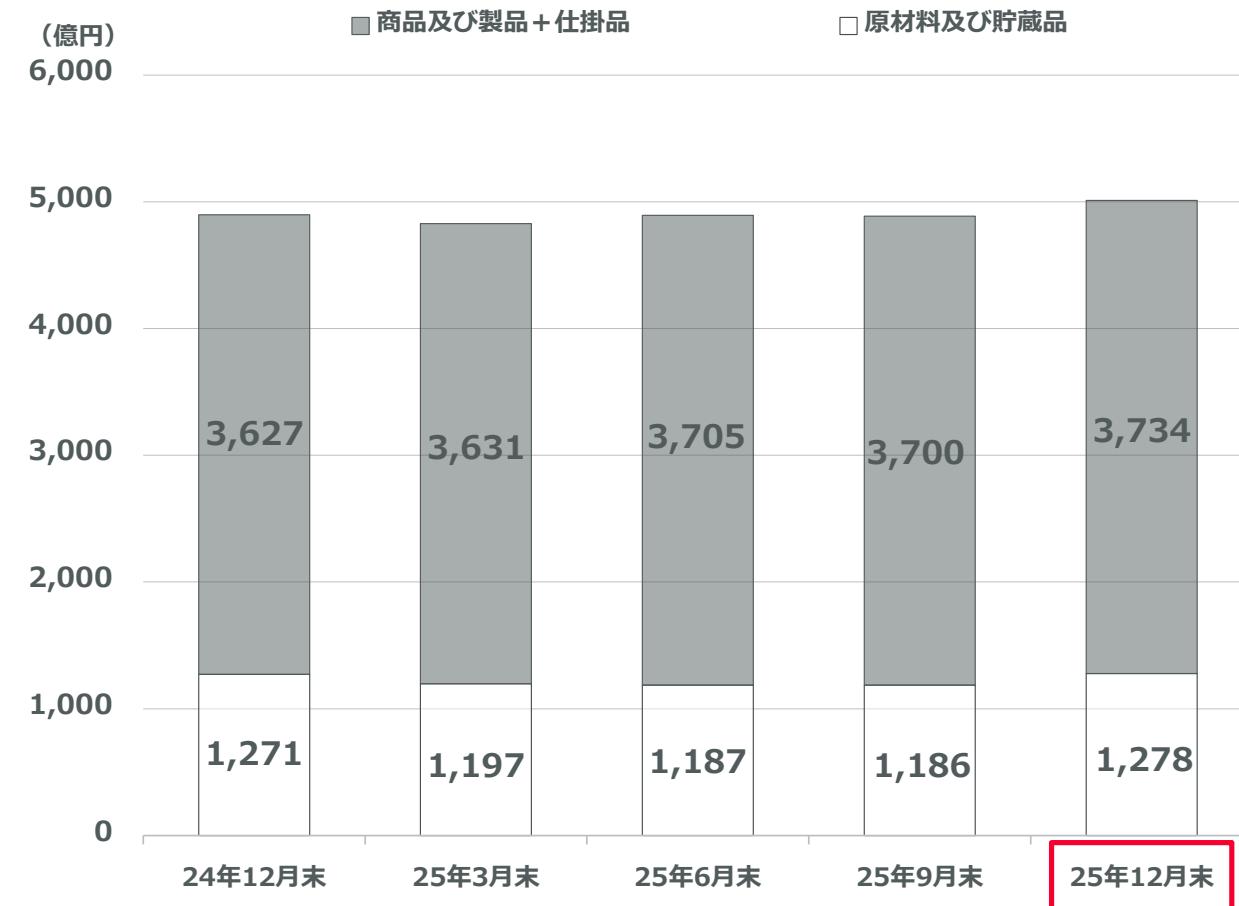
利益変動要因 [2024年度9ヶ月累計→2025年度9ヶ月累計]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

棚卸資産の状況

- 2025年12月末の棚卸資産は、前四半期末比で+125億円増加。
- 期末為替レートが円安に進行したことによる影響を除くと、同▲10億円程度の減少。



キャッシュフロー

- 前年同期比で棚卸資産の減少額が下回ったことにより、営業活動によるキャッシュフローが減少した。
- 財務活動によるキャッシュフローには前年同期に続き、自己株式取得および配当金支払が含まれている。

	2024年度 9ヶ月累計 (億円)	2025年度 9ヶ月累計 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	3,235	2,818	▲418
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,570	▲ 1,167	+402
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,398	▲ 2,187	+211
為替変動による影響	249	107	▲143
現金及び現金同等物の残高	5,737	5,822	+85
フリーキャッシュフロー	1,666	1,651	▲15
固定資産の取得による支出	▲ 1,462	▲ 1,344	+117
減価償却費及び償却費	1,288	1,289	+1

2025年度 業績予想

2025年4月～2026年3月

2025年度 業績予想

- 通期業績予想は、10月予想比で売上収益を上方修正、営業利益を下方修正する見通し。
- 売上収益は、円安進行に加え、AIサーバーおよび周辺機器における電子部品の搭載数増加、スマートフォン生産台数の増加による当社製品需要の拡大により増収。一方、減損を含めた一時費用の影響もあり、営業利益は前回予想に対して減益を見込む。

	2025年度				2025年度				前回予想比				
	上期実績 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (10月) (億円)	(%)	上期実績 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (2月) (億円)	(%)	2月予想／10月予想 (億円)	(%)	為替影響 (億円)	為替影響除き (億円)	(%)
売上収益	9,028	8,372	17,400	100.0	9,028	8,972	18,000	100.0	+600	+3.4	+354	+246	+1.4
営業利益	1,651	1,149	2,800	16.1	1,651	1,049	2,700	15.0	▲100	▲3.6	+177	▲277	▲9.9
税引前利益	1,748	1,152	2,900	16.7	1,748	1,192	2,940	16.3	+40	+1.4			
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,324	876	2,200	12.6	1,324	877	2,200	12.2	+0	+0.0			
ROIC(税引後) (%)			9.7				8.9						
為替 (円/USD)			145.52				149.06						

※対ドル為替感応度(1円変動/年)
売上収益：約90億円 営業利益：約45億円

業績予想の前提と当社の認識

- ・ **スマートフォン**：ハイエンド端末や中華圏IDHが好調であり、前年度比で総台数の増加を見込む。
- ・ **自動車** : 前年度比でxEV比率の上昇を見込む。
- ・ **PC** : 買い替え需要により、ノートPCを中心に前年度比で台数の増加を見込む。

	2024年度 実績	2025年度 前回予想(10月)	2025年度	増減	
			今回予想(2月)	前年度比	前回予想比
スマートフォン	11.7 億台	12.1 億台	12.3 億台	+5%	+2%
内 5G端末構成比率	66.7 %	66.1 %	65.6 %	+3%	+1%
自動車	8,950 万台	9,033 万台	9,129 万台	+2%	+1%
内 xEV構成比率	39.0 %	43.7 %	43.1 %	+13%	▲0%
PC	3.8 億台	3.9 億台	4.0 億台	+5%	+2%
サーバー全体に占めるAIサーバー構成比率	12.5 %	13.1 %	13.1 %	1.1倍	横這い

(注) スマートフォンとPCは部品取込ベース、自動車は生産台数ベース、サーバーは出荷台数ベース

(注) サーバー台数の更新は半期に一度のため、今回は未更新

事業環境認識

売上

生産

費用

10月時点の業績予想前提

- 各国の関税政策による景気後退懸念が低下し、最終セット台数が予想比で上振れ
- AIデータセンター向けの部品需要は堅調維持
- 自動車向け半導体出荷停止問題の影響は調査中
- 製品価格の値下がりは進行するも、民生品の値下がりは予想比で緩やかに推移
- 下期以降の前提レートは145円/USD

2月時点の現状認識

- セット台数はスマートフォンを中心に幅広い用途で上振れ
- AIデータセンター向けの部品需要は堅調維持
- メモリ価格高騰による影響は、25年度においては限定的と想定。26年度に向けては、需給や価格動向を踏まえ、影響の有無を継続的に注視
- 製品価格の値下がりは進行するも、値下がりは10月予想並みで推移
- 25Q4の前提レートは150円/USD

- 2Qは季節性や前倒し需要対応により在庫減
- コンポーネントを中心に下期以降も高い操業度を継続し、在庫積み増しを計画

- コンポーネントを中心に高い操業度を維持
- 高需要への対応を継続するため、在庫の積み増しは前回予想を下回る

- 中長期視点での投資計画に大きな変更なし
- 計画的なコストコントロールは継続

- 中長期視点での投資計画に大きな変更なし
- 計画的なコストコントロールは継続

事業別セグメント売上予想

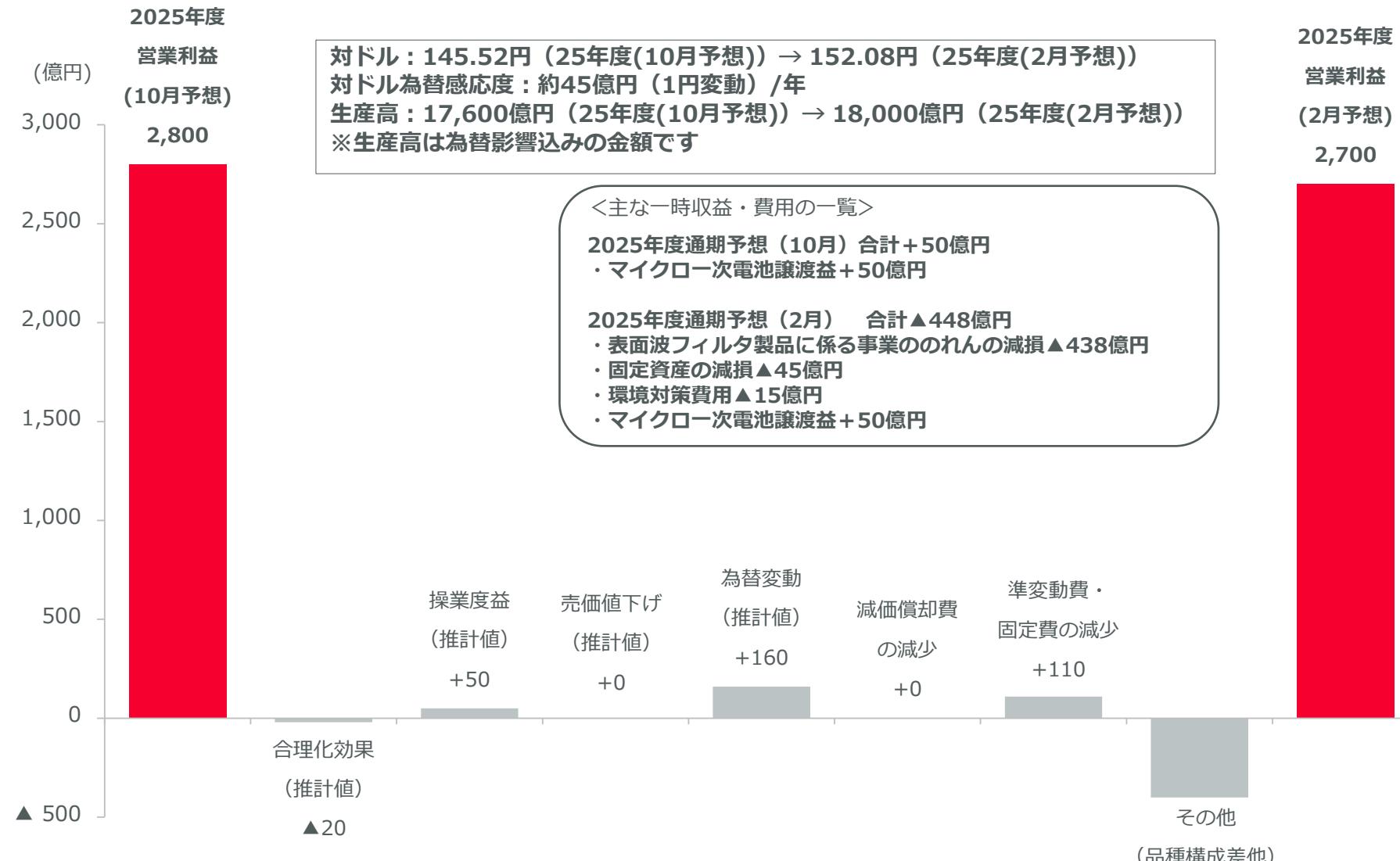
	2025年度 通期予想(10月) (億円)			2025年度 通期予想(2月) (億円)	前回予想比 2月予想/10月予想 (億円) (%)		上期実績比 下期予想(2月) (億円) (%)	
		上期実績 (億円)	下期予想 (億円)		(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	8,979	4,549	4,764	9,313	+334	+3.7	+215	+4.7
インダクタ・EMIフィルタ	2,141	1,107	1,087	2,195	+54	+2.5	▲20	▲1.8
コンポーネント	11,120	5,656	5,851	11,508	+388	+3.5	+195	+3.4
高周波・通信	3,627	2,027	1,749	3,776	+149	+4.1	▲278	▲13.7
エナジー・パワー	1,466	749	761	1,510	+45	+3.0	+12	+1.6
機能デバイス	1,028	522	528	1,050	+22	+2.1	+6	+1.1
デバイス・モジュール	6,121	3,298	3,038	6,336	+215	+3.5	▲260	▲7.9
その他	160	74	83	156	▲3	▲2.0	+9	+12.4
売上収益計	17,400	9,028	8,972	18,000	+600	+3.4	▲56	▲0.6

用途別売上予想

	2025年度 通期予想(10月) (億円)			2025年度 通期予想(2月) (億円)	前回予想比 2月予想/10月予想 (億円) (%)		上期実績比 下期予想(2月) (億円) (%)	
		上期実績 (億円)	下期予想 (億円)		(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	6,119	3,285	3,055	6,340	+221	+3.6	▲230	▲7.0
モビリティ	4,704	2,345	2,425	4,770	+67	+1.4	+80	+3.4
コンピュータ	2,855	1,459	1,604	3,063	+208	+7.3	+146	+10.0
家電	1,337	734	636	1,370	+33	+2.5	▲98	▲13.3
産業・その他	2,385	1,204	1,252	2,456	+71	+3.0	+47	+3.9
売上収益計	17,400	9,028	8,972	18,000	+600	+3.4	▲56	▲0.6

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

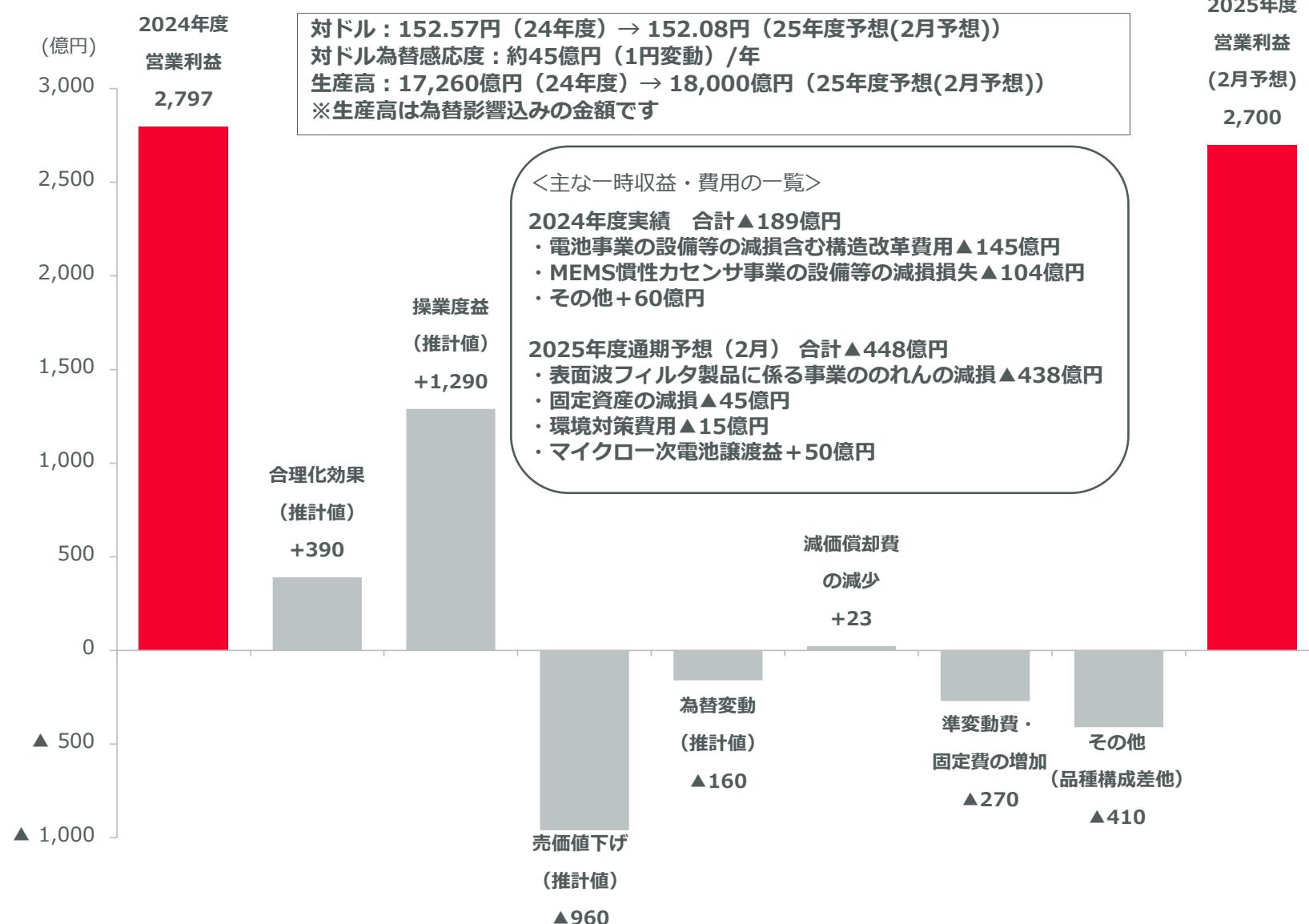
利益変動要因 [2025年度通期予想 (10月) → 2025年度通期予想 (2月)]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

▲400

利益変動要因 [2024年度実績→2025年度予想（2月）]

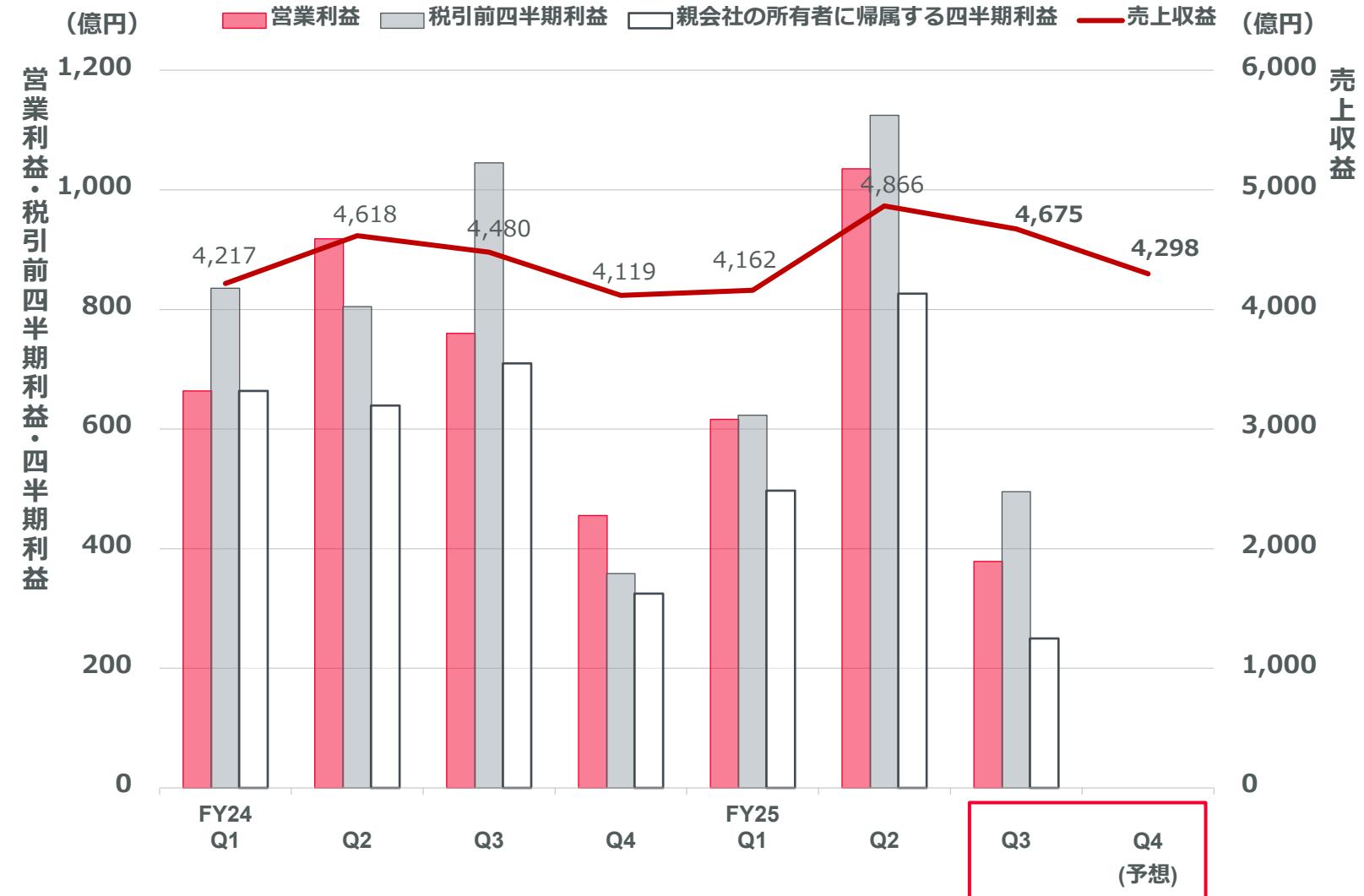


※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

業績予想の前提

	2025年度 上期実績	2025年度 下期予想	2025年度 通期予想
減価償却費	846 億円	864 億円	1,710 億円
研究開発費	780 億円	770 億円	1,550 億円
設備投資額	754 億円	1,746 億円	2,500 億円
為替レート(USD)	146.04 円/USD	152.08 円/USD	149.06 円/USD

業績推移（四半期）



株主還元

- ・ **2025年度（2026年3月期）の配当予定**
1株当たり年間60円
(中間配当30円／期末配当30円)
- ・ **2024年度（2025年3月期）の配当**
1株当たり年間57円
(中間配当27円／期末配当30円)

※当株主還元は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点での入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

補足

事業別セグメント売上 9カ月累計実績の状況

[2024年度9カ月累計→2025年度9カ月累計]

	2024年度 9カ月累計 (億円)	2025年度 通期予想(2月) (億円)	2025年度 9カ月累計 (億円)	前年同期比 増減率 (%)	通期予想に 対する進捗率 (%)
コンデンサ	6,304	9,313	6,940	+ 10.1	75%
インダクタ・EMIフィルタ	1,525	2,195	1,671	+ 9.6	76%
コンポーネント	7,829	11,508	8,611	+ 10.0	75%
高周波・通信	3,465	3,776	3,049	▲ 12.0	81%
エナジー・パワー	1,184	1,510	1,138	▲ 3.8	75%
機能デバイス	737	1,050	793	+ 7.5	76%
デバイス・モジュール	5,386	6,336	4,980	▲ 7.5	79%
その他	99	156	111	+ 12.0	71%
売上収益計	13,315	18,000	13,702	+ 2.9	76%

事業別セグメント売上 9カ月累計収益の概況

[2024年度9カ月累計→2025年度9カ月累計]

コンデンサ (前年同期比+10.1%)	○積層セラミックコンデンサ（M L C C） サーバー、スマートフォン向けで増加
インダクタ・ EMIフィルタ (前年同期比+9.6%)	○インダクタ モビリティ、スマートフォン向けで増加 ○EMIフィルタ モビリティ、サーバー向けで増加
高周波・通信 (前年同期比▲12.0%)	▲樹脂多層基板・高周波モジュール スマートフォン向けで減少
エナジー・パワー (前年同期比▲3.8%)	▲リチウムイオン二次電池 ゲーム機向けで減少 ▲電源モジュール 代理店向けや産業機器向けで減少
機能デバイス (前年同期比+7.5%)	○センサ モビリティ向けで増加

用途別売上 9ヶ月累計実績の状況

[2024年度9ヶ月累計→2025年度9ヶ月累計]

	2024年度 9ヶ月累計 (億円)	2025年度 通期予想(2月) (億円)	2025年度 9ヶ月累計 (億円)	前年同期比 増減率 (%)	通期予想に 対する進捗率 (%)
通信	5,261	6,340	5,002	▲4.9	79%
モビリティ	3,422	4,770	3,563	+4.1	75%
コンピュータ	1,826	3,063	2,232	+22.2	73%
家電	1,077	1,370	1,090	+1.2	80%
産業・その他	1,728	2,456	1,815	+5.0	74%
売上収益計	13,315	18,000	13,702	+2.9	76%

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

用途別売上 9ヶ月累計収益の概況

[2024年度9ヶ月累計→2025年度9ヶ月累計]

通信

(前年同期比▲4. 9%)

▲ スマートフォン向けで樹脂多層基板や高周波モジュールが減少

モビリティ

(前年同期比+4. 1 %)

○ 自動車向けでインダクタやセンサが増加

コンピュータ

(前年同期比+22. 2%)

○ サーバー向けでコンデンサが増加

家電

(前年同期比+1. 2%)

○ AV機器向けでコネクティビティモジュールが増加

産業・その他

(前年同期比+5. 0%)

○ 代理店向けでコンデンサやEMIフィルタが増加

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

連結財政状態計算書

(単位：億円)

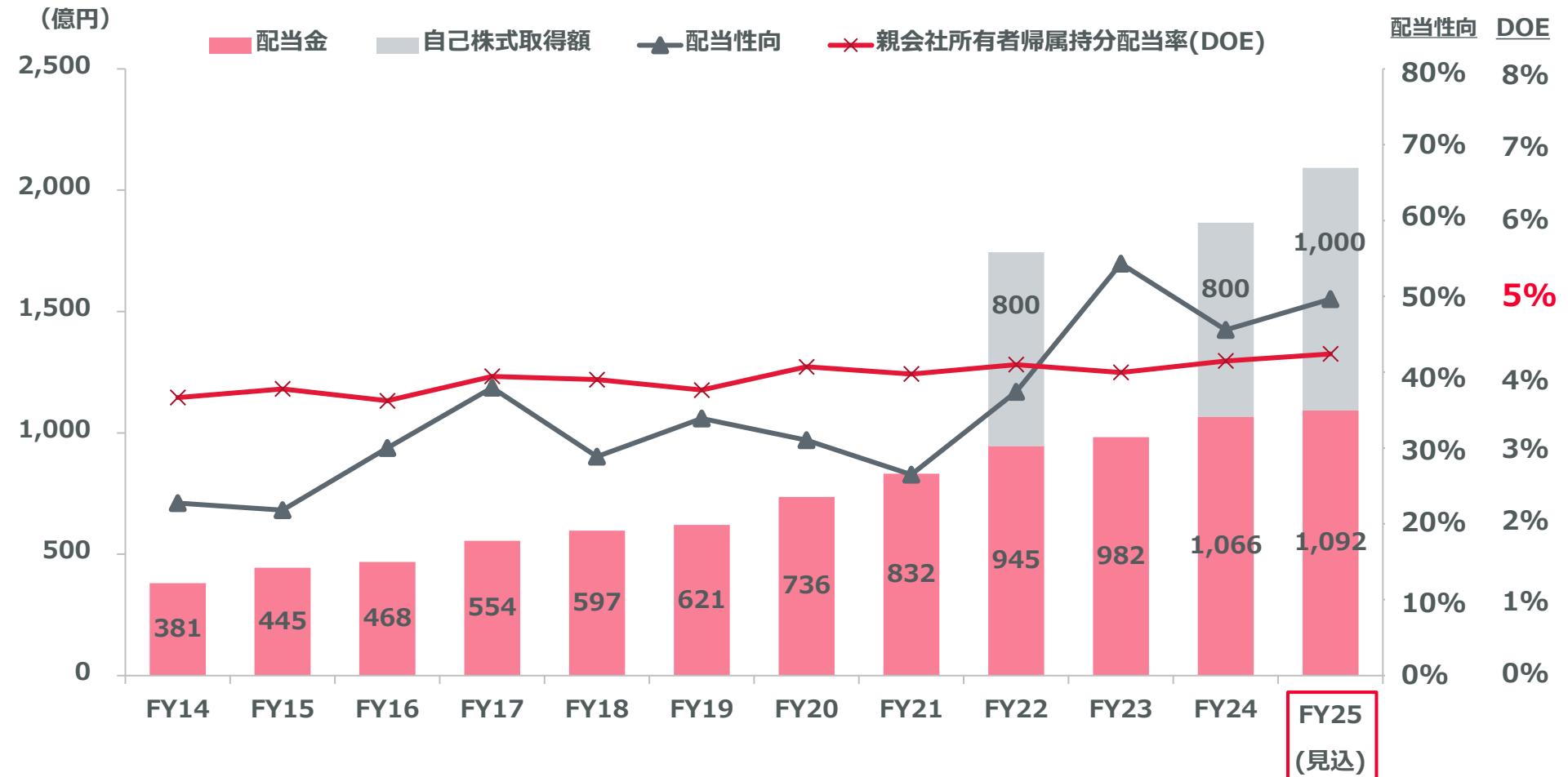
	2025年 3月期末	2025年 12月期末	増減		2025年 3月期末	2025年 12月期末	増減
現金及び 現金同等物	6,251	5,822	▲429	社債及び借入金	24	32	+8
営業債権	2,944	3,390	+446	営業債務	696	720	+24
棚卸資産	4,828	5,011	+183	その他流動・ 非流動負債	3,762	4,027	+265
その他の流動資産	955	939	▲16	負債合計	4,482	4,780	+298
流動資産合計	14,979	15,162	+183	親会社の所有者に 帰属する持分合計	25,808	26,144	+336
有形固定資産	11,837	12,579	+741	非支配株主持分	▲8	▲9	▲1
使用権資産	642	640	▲2	資本合計	25,800	26,135	+336
のれん	1,357	982	▲375	負債及び資本合計	30,282	30,915	+633
その他の 非流動資産	1,466	1,552	+86				
非流動資産合計	15,303	15,753	+450				
資産合計	30,282	30,915	+633				

(単位：円)

期末日為替レート	2025年 3月期末	2025年 12月期末	差
為替 (円/USD)	149.53	156.54	7.01 円安

株主還元推移

- 2025年度は前年度比3円増配の1株当たり年間60円の配当金を予定している。また、2025年10月末時点で1,000億円を上限とする自己株式取得を完了した。
- 中期的にDOE 5 %を目安に引き上げし、安定的な配当の実現を目指す。



四半期別財務データ_連結業績

	2024年度				2025年度			(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675	
営業利益	664	918	760	455	616	1,035	379	
税引前利益	836	805	1,045	358	623	1,125	495	
親会社の所有者に帰属する当期利益	664	640	710	325	497	827	250	
設備投資	417	430	448	510	347	407	888	
減価償却費	424	428	436	445	420	427	443	
研究開発費	379	357	363	394	398	382	397	
対ドルレート(円)	155.89	149.36	152.44	152.61	144.60	147.48	154.15	

四半期別財務データ_売上収益

		2024年度				2025年度		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
事業別セグメント 売上収益	コンデンサ	2,033	2,140	2,131	2,014	2,173	2,376	2,391
	インダクタ・EMIフィルタ	483	528	515	487	525	583	564
	コンポーネント 計	2,516	2,668	2,646	2,502	2,698	2,958	2,955
	高周波・通信	993	1,263	1,209	971	821	1,206	1,022
	エナジー・パワー	426	411	347	374	358	391	389
	機能デバイス	252	240	245	241	248	274	271
	デバイス・モジュール 計	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871	1,682
	その他	29	36	34	32	37	37	37
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675
用途別 売上収益	通信	1,549	1,913	1,798	1,481	1,376	1,910	1,717
	モビリティ	1,150	1,126	1,146	1,106	1,133	1,212	1,218
	コンピュータ	572	643	611	590	700	759	773
	家電	390	365	323	348	368	366	356
	産業・その他	557	571	601	593	585	620	610
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675

(注) 2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
 増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

四半期別財務データ_セグメント情報

(億円)

		2024年度				2025年度		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	3Q
コンポーネント	売上収益	2,543	2,698	2,674	2,525	2,740	3,002	3,000
	営業利益	737	768	688	559	712	865	764
	営業利益率	29.0%	28.5%	25.7%	22.1%	26.0%	28.8%	25.5%
デバイス ・モジュール	売上収益	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871	1,682
	営業利益	▲61	157	84	▲80	▲80	183	▲364
	営業利益率	▲3.7%	8.2%	4.7%	▲5.1%	▲5.6%	9.8%	▲21.7%
その他	売上収益	154	165	182	172	172	158	160
	営業利益	▲12	▲8	▲12	▲23	▲15	▲13	▲21
	営業利益率	▲7.5%	▲4.7%	▲6.7%	▲13.3%	▲8.9%	▲8.3%	▲13.0%
消去	売上収益	▲152	▲159	▲176	▲164	▲177	▲165	▲168
連結	売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675
	営業利益	664	918	760	455	616	1,035	379
	営業利益率	15.7%	19.9%	17.0%	11.1%	14.8%	21.3%	8.1%

muRata

INNOVATOR IN ELECTRONICS